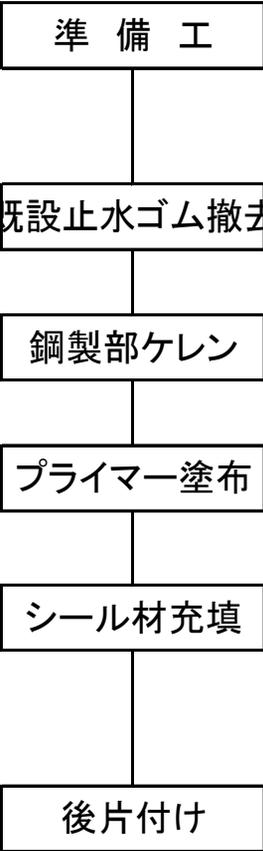


# 伸縮装置止水部補修工(シール材) 作業手順



内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認
カッター・バール等で既設のジョイント部の止水ゴムを撤去する。	カッター使用時は耐切削手袋を使用する。 止水ゴム撤去前に、ジョイント部の土砂を撤去し高架下に 落下させないようにする。
鋼製部の錆をピック、ケレントップ等を使用して、清掃を行う。	作業に合った保護具を使用する。 車線側には、必ず飛散防止を行い養生する。
遊間部接着面に、刷毛にて塗りむらのないように均一に塗布する。	作業に合った保護具を使用する。 作業前に作業場所の整理整頓を行う。 消火器の配置を行う。
ゴムヘラにて、目地の深部までいきわたるように均一に充填する。 目地内に隙間のように押さえを十分にいき、表面を平滑に仕上げる。 開放後の考慮して、遊間より低め(1~2cm)に仕上げる。	シール材施工時、保護手袋の着用をする。 所定の高さに施工を行うため、高さ管理を確実にを行う。
使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。  安全ミーティング日報による

注意事項

作業に合った保護具を使用する。  
 センターライン付近の作業は、十分注意を行う。  
 消火器の配置を行う。  
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。  
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。